

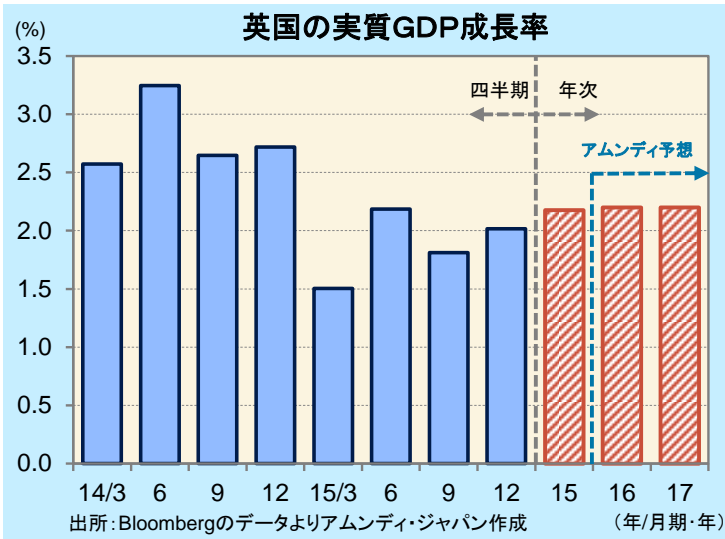


ズームイン英国 (マーケット情報版)

先進国の中での相対的に高い成長性が際立つ

15年10-12月期のGDP速報が発表され、実質GDP成長率は前期比年率+2.0%でした。英国経済の中心的存在であるサービス業が好調でした。内需主導の緩やかな景気拡大が続いています。

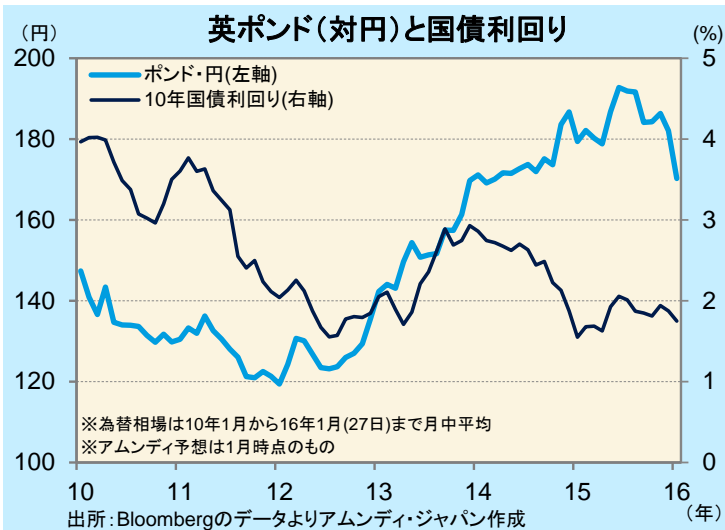
16、17年も+2%台の成長率を維持すると予想されます。先進国全体の成長率予想は+1%台後半であり、それと比較すると、先進国の中でも成長性の高さが際立ちます。米国を上回る可能性もあります。



ポンドは反発の公算大、中長期金利は当面安定

英ポンドは原油価格の更なる下落と利上げ観測の後退で年末年始にかけて下落しましたが、経済実態の強さを考慮すると売られ過ぎと考えられます。

原油価格は落ち着く気配を見せています。また、着実な成長を受けて年後半には利上げ気運が盛り上がると予想されます。したがって、ポンドはここからは反発する公算大です。一方、中長期金利は当面安定が予想され、安定的な収益が得られそうです。



経済の実力からポンドは売られ過ぎ。安定的な金利収入も含めてここからの英国債投資は妙味がありそうですね！



投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、全て受益者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に以下のような手数料がかかります。手数料率はファンドによって異なり、下記以外の手数料がかかること、または、一部の手数料がかからない場合もあるため、詳細は各ファンドの販売会社へお問い合わせいただくか、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託の購入時: 申込手数料

投資信託の換金時: 換金(解約)手数料、信託財産留保額

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。間接的負担には、その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等が含まれます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の費用がかかることがあります。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。